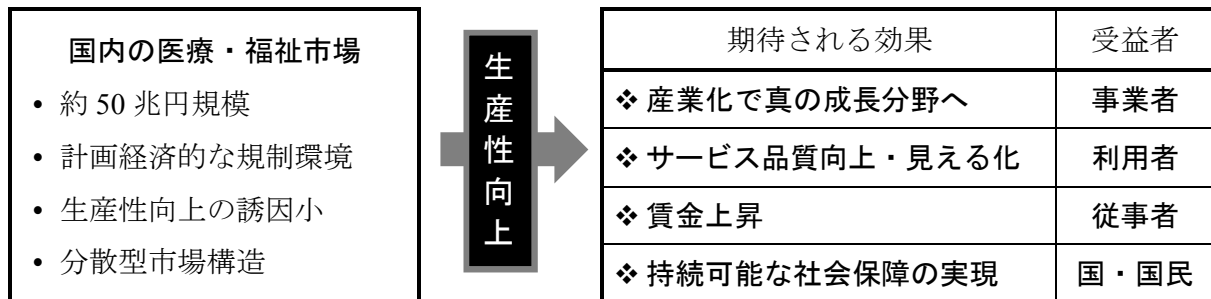


2013 年度 医療・福祉改革委員会 提言概要
 “医療・介護サービスの生産性改革を”

◆ 現状認識と目指すべき姿



◆ 提言：具体的課題とその解決策

具体的課題		解決策
特定法人に対する優遇制度が市場を歪めている ・ 公営病院に補助 1 兆円 ・ 社会福祉法人への補助・優遇措置	→	提言 1. 市場の歪みの解消 ✓ 公設・公的病院の経営情報と医療情報を開示し、ガバナンスを強化せよ ✓ 社会福祉法人への優遇制度を縮小／廃止し、民間営利法人との条件同一化を実現せよ
サービス事業者の規模拡大の動きが鈍い ・ 法人格が多様で再編・統合が困難 ・ 規模拡大の誘因なし ・ 保険者ガバナンス活用の仕組みなし	→	提言 2. 規模拡大と生産性向上 ✓ 地域医療圏における病院間の棲み分け／役割分担のインセンティブ付与に向け、診療報酬体系・補助金等のメリハリ付けを実施せよ ✓ 地域医療圏における大規模事業体の更なる連携強化に資する経営形態の枠組みを構築せよ ✓ 大規模事業体に対し、保険者ガバナンスを活用できる仕組みを中期的に構築せよ
事業者の退出・集約化に対して抑制的な政策	→	提言 3. 生産性の低い事業者の退出・集約化の促進 ✓ 廃業事業者の受け皿を構築せよ
利用者と事業者の情報の非対称性の存在 ・ 質の担保策が未整備 特に介護分野で著しい	→	提言 4. 質の担保策の導入 ✓ 医療の品質評価指標の構築と、医療機関毎の品質評価指標を利用者に開示せよ ✓ 介護の品質指標体系を構築して事業者のサービス品質を公開し、介護報酬体系への反映させよ